



2022年3月期第2四半期 決算説明会補足資料

2021年11月24日

連結の範囲

	国内	海外	計	前期末比増減
当社	1	-	1	-
連結子会社	22	48	70	±0
持分法適用会社	6	1	7	±0
計	29	49	78	±0

異動の内訳

連結子会社 : OVOL Fiber Europeの追加、Kirby Paper International (HK) の除外

連結業績 P/L

《要約連結損益計算書》

単位：百万円

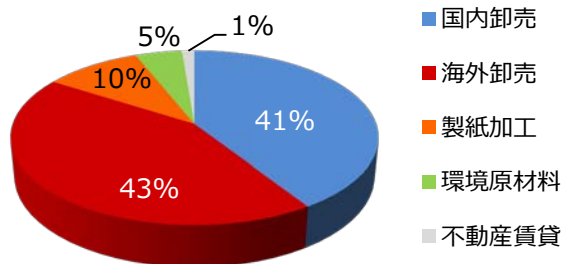
科目	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	増減	前年 同期比
売上収益	224,787	208,029	△16,758	92.5
売上原価	194,684	173,562	△21,123	89.2
売上総利益	30,102	34,467	4,365	114.5
販売費及び一般管理費	26,460	28,151	1,691	106.4
営業利益	3,643	6,316	2,673	173.4
営業外収益	1,089	1,273	184	116.9
営業外費用	1,074	928	△147	86.4
経常利益	3,657	6,661	3,004	182.1
特別利益	147	6,732	6,586	-
特別損失	458	154	△304	33.6
税金等調整前四半期純利益	3,346	13,240	9,893	395.7
法人税等	1,287	4,399	3,112	341.8
四半期純利益	2,059	8,840	6,781	429.3
非支配株主に帰属する四半期純利益	429	386	△43	90.1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,630	8,454	6,824	518.6

連結業績 P/L セグメント別構成

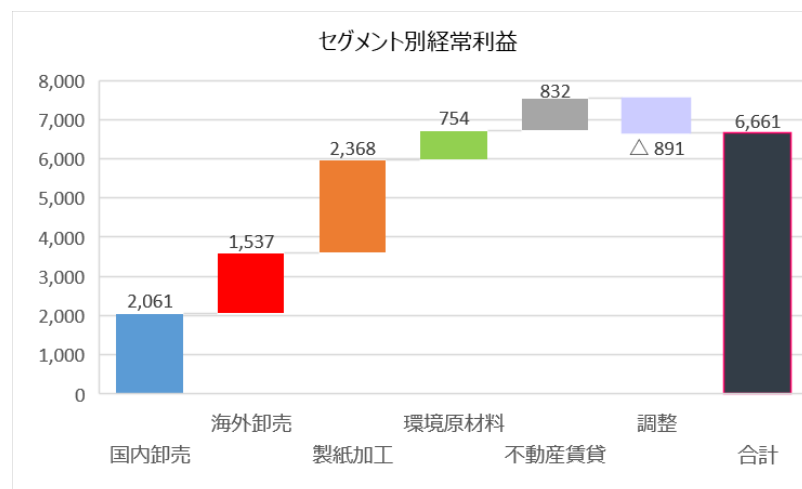
単位：百万円

セグメントの名称	外部顧客への売上収益			経常利益		
	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	前年 同期比	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	前年 同期比
国内卸売	119,602	85,042	71.1	1,272	2,061	162.0
海外卸売	77,852	89,777	115.3	△411	1,537	-
製紙加工	10,847	20,599	189.9	2,376	2,368	99.7
環境原材料	13,876	9,978	71.9	368	754	204.9
不動産賃貸	2,610	2,632	100.9	819	832	101.6
調整額	-	-	-	△767	△891	-
連結損益計算書計上額	224,787	208,029	92.5	3,657	6,661	182.1

外部顧客への売上収益構成比



セグメント別経常利益

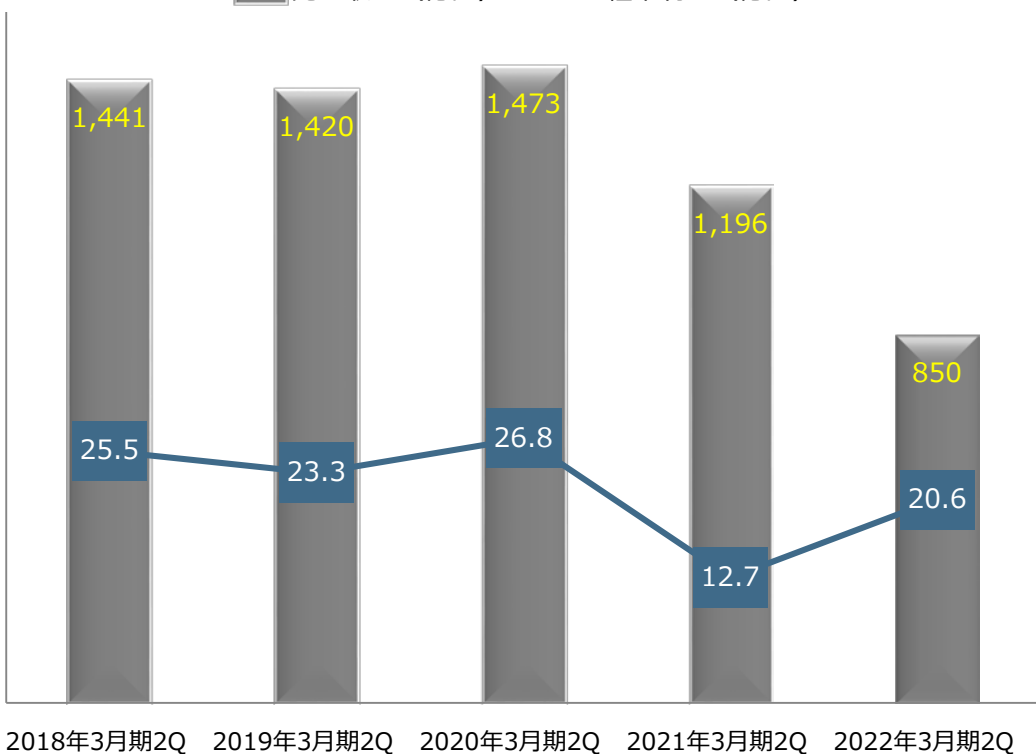


【国内卸売】セグメント

単位：百万円

外部顧客への 売上収益	前年同期比増減 (前年同期比)	経常利益	前年同期比増減 (前年同期比)
85,042	△34,560 (71.1%)	2,061	+789 (162.0%)

■ 売上収益（億円） — 経常利益（億円）



【概況】

紙は、前第2四半期連結会計期間において政府による消費喚起策が実施され、集客を促す商業施設や旅行関連のチラシ等の需要回復があったことに対し、当第2四半期連結会計期間においては緊急事態宣言等による経済活動の制限が続きました。これにより依然として旅行やイベント関連のパンフレット等の需要回復は見られず、出版向けや一部のチラシ需要においては前年を下回る動きもありましたが、当第2四半期連結累計期間を通して紙全体の需要は緩やかな回復を継続しており、前年同期に対し販売数量が増加しました。

板紙は、半導体や工業部品等の不足に伴う需要への影響が一部見られたものの、通販関連や加工食品向けの需要が引き続き堅調に推移し、前年同期に対し販売数量が増加しました。

紙、板紙ともに販売数量は増加しておりますが、売上収益は収益認識会計基準等の適用によるマイナスの影響により、前年同期比減、経常利益については販売数量の増加による営業利益の増加と持分法投資利益の増加により前年同期比増となりました。

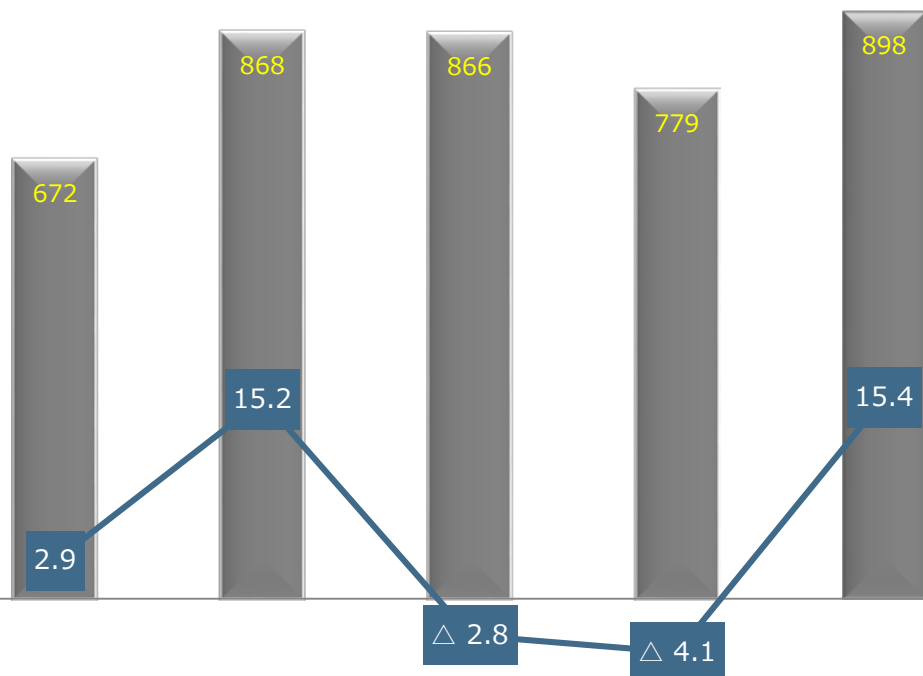
なお、収益認識会計基準等の適用による売上収益への影響は△41,645百万円となります。

【海外卸売】セグメント

単位：百万円

外部顧客への 売上収益	前年同期比増減 (前年同期比)	経常利益	前年同期比増減 (前年同期比)
89,777	+11,925 (115.3%)	1,537	+1,947 (-)

■ 売上収益（億円） — 経常利益（億円）



【概況】

英国及び東南アジア諸国においてはロックダウン等の行動制限や新型コロナウイルス感染の再拡大が見られたものの、米国、オセアニアを中心に経済の持ち直しにより紙需要が回復し販売数量が増加したことに加え、需給のひっ迫による販売価格の上昇がありました。本邦からの紙の輸出数量も前年同期比で増加し、売上収益は増となりました。

オセアニア、英国拠点においては前第2四半期連結会計期間に支給があった政府からの休業助成金等が当第2四半期連結会計期間にはなかったこと、各国事業拠点において販売数量が増加したことにより人件費及び販売直接費が増加したものの、販売数量の増加、及び販売価格の上昇による収益性の改善に加え、為替影響による増加もあり、経常利益は前年同期に対し大幅に改善しました。

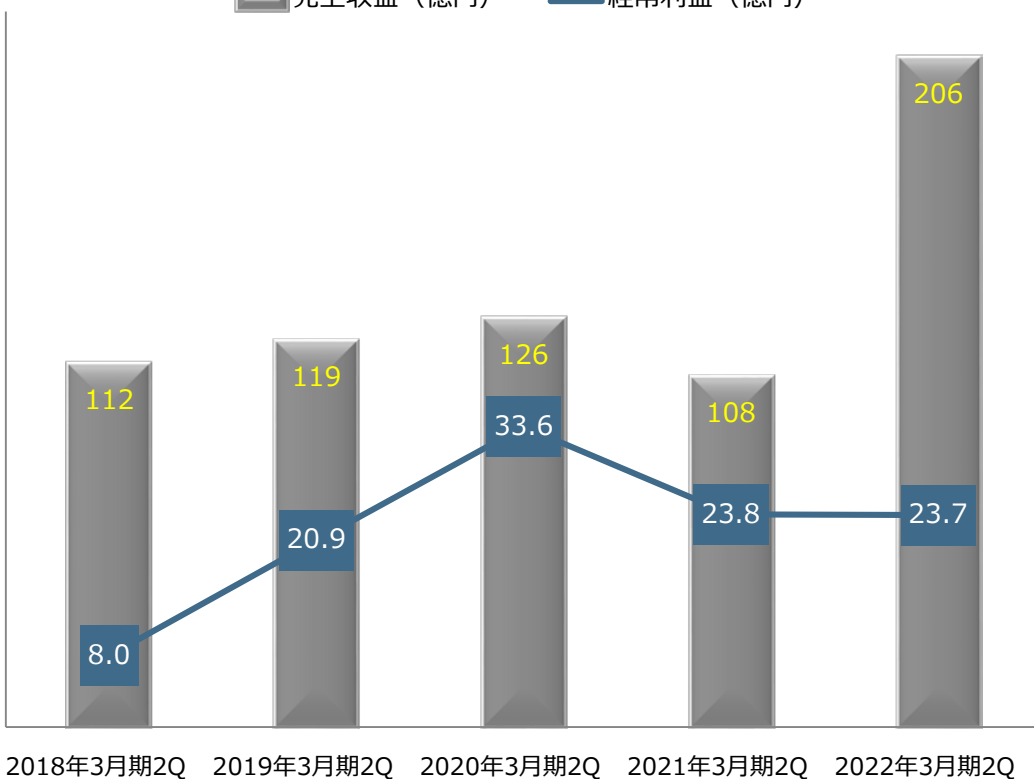
なお、収益認識会計基準等の適用による売上収益への影響は△1,170百万円となります。

【製紙加工】セグメント

単位：百万円

外部顧客への 売上収益	前年同期比増減 (前年同期比)	経常利益	前年同期比増減 (前年同期比)
20,599	+9,752 (189.9%)	2,368	△8 (99.7%)

■ 売上収益（億円） — 経常利益（億円）



【概況】

段ボール製造加工事業においては需要の増加に伴い、国内及び海外において前年同期に対し販売数量が増加しました。再生家庭紙事業は国内では前第1四半期連結会計期間に新型コロナウイルス感染拡大による急激な需要増に対する反動減があったため前年同期に対し販売数量が回復しましたが、海外においては減少しました。

売上収益は収益認識会計基準等の適用によるプラスの影響があり、前年同期比大幅増となりました。

経常利益は、国内における段ボール製造加工事業の販売数量増加により増加したものの、海外段ボール製造会社における新工場稼働による固定費の増加と原材料価格の上昇、及び海外再生家庭紙事業における販売数量の減少により前年同期比微減となりました。

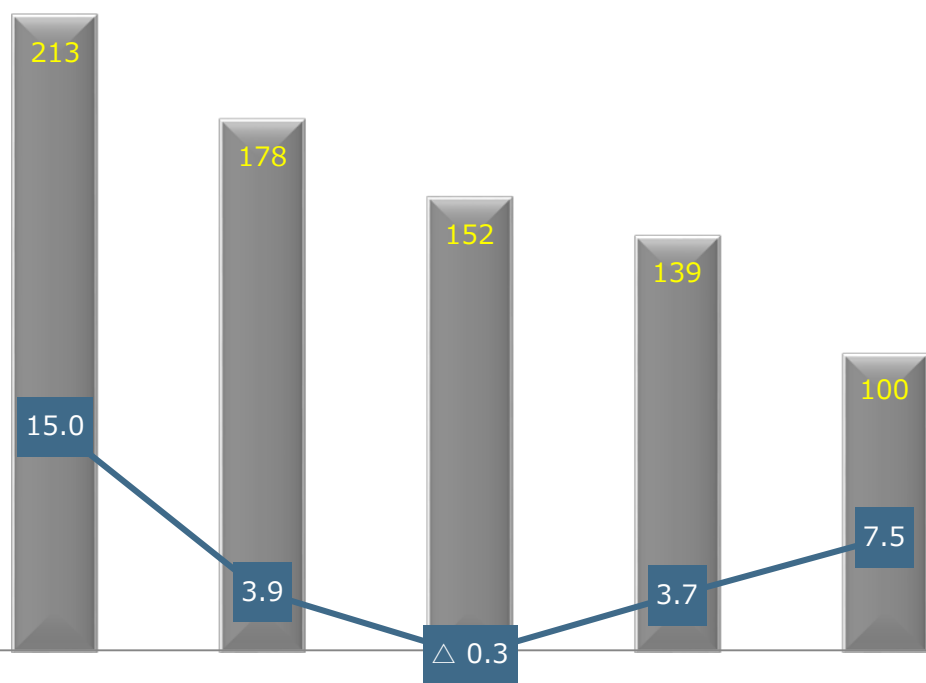
なお、収益認識会計基準等の適用による売上収益への影響は+9,273百万円となります。

【環境原材料】セグメント

単位：百万円

外部顧客への 売上収益	前年同期比増減 (前年同期比)	経常利益	前年同期比増減 (前年同期比)
9,978	△3,898 (71.9%)	754	+386 (204.9%)

■売上収益（億円） — 経常利益（億円）



【概況】

売上収益は、国内及び米国古紙事業において販売数量が減少したこと、及び収益認識会計基準等の適用によるマイナスの影響もあり、前年同期比減となりました。

経常利益は、総合リサイクル事業の処理数量が増加したことに加え、再生可能エネルギーによる発電事業や国内古紙事業において収益性が改善したことから前年同期比増となりました。

なお、収益認識会計基準等の適用による売上収益への影響は△3,567百万円となります。

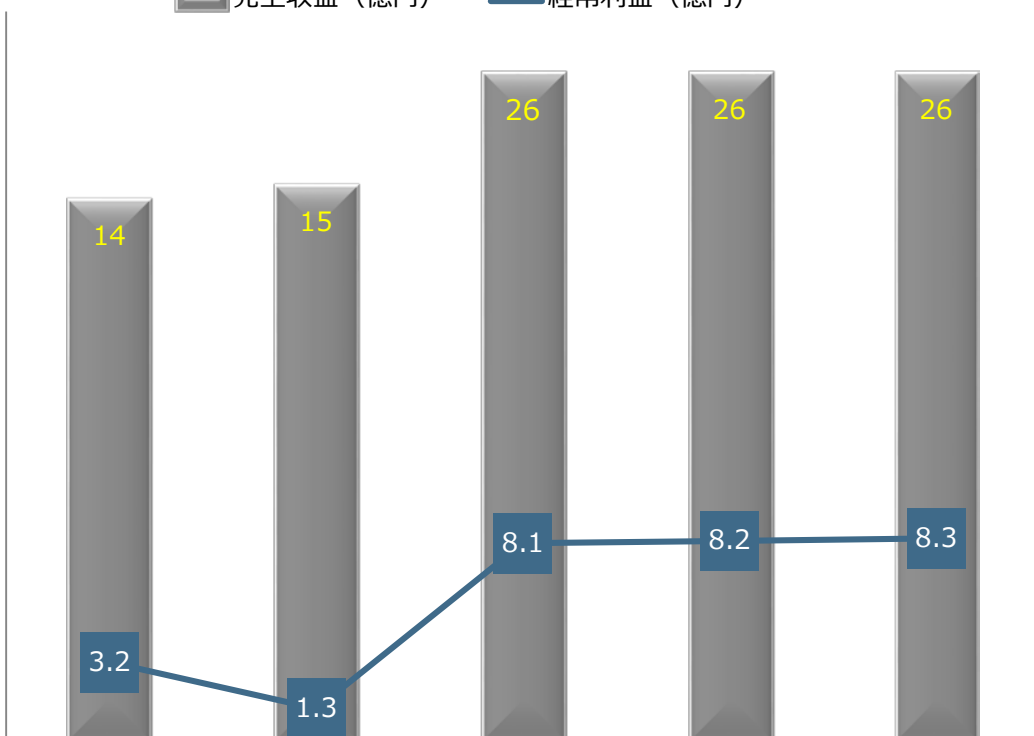
2018年3月期2Q 2019年3月期2Q 2020年3月期2Q 2021年3月期2Q 2022年3月期2Q

【不動産賃貸】セグメント

単位：百万円

外部顧客への 売上収益	前年同期比増減 (前年同期比)	経常利益	前年同期比増減 (前年同期比)
2,632	+23 (100.9%)	832	+13 (101.6%)

■ 売上収益（億円） — 経常利益（億円）



【概況】

テナントビルの稼働率は引き続き高水準を維持しており、売上収益・経常利益ともに、前年同期比増となりました。
 なお、収益認識会計基準等の適用による売上収益への影響はありません。

2018年3月期2Q 2019年3月期2Q 2020年3月期2Q 2021年3月期2Q 2022年3月期2Q

連結財政状態

《要約連結貸借対照表》

単位：百万円

科目	2021年3月期	2022年3月期 第2四半期	前期末比増減
流動資産	160,410	165,730	5,320
固定資産	161,476	159,734	△1,742
繰延資産	100	91	△9
資産合計	321,986	325,554	3,568
流動負債	151,679	150,775	△905
固定負債	80,435	76,672	△3,763
負債合計	232,114	227,446	△4,668
株主資本	74,467	82,170	7,704
その他の包括利益累計額	8,985	8,999	14
新株予約権	117	83	△33
非支配株主持分	6,304	6,856	552
純資産合計	89,872	98,108	8,236
負債純資産合計	321,986	325,554	3,568
純有利子負債	102,471	98,218	△4,253
ネットD／Eレシオ	1.23倍	1.08倍	△0.15

連結業績 経営指標

	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	前年同期比 増減
1株当たり四半期純利益	119円23銭	617円36銭	+498円13銭
潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益	118円85銭	615円88銭	+497円3銭
ネットD／Eレシオ	1.49倍	1.08倍	△0.41

2022年3月期業績予想

	2022年3月期予想	前期比
営業利益	9,800百万円	110.2%
経常利益	9,300百万円	103.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,400百万円	257.6%

MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



Paper, and beyond

本資料で記載されている業績予想は本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。

これらの将来の見通しに関する記述は、本資料作成時において当社で入手しうる各種情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料は、記載された目標の達成および将来の業績を保証するものではなく、また、本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。